

高知県の中山間地域の現状と対策



～ 目次 ～

- 1 令和3年度高知県集落調査
集落实態調査の結果
集落データ調査の結果
- 2 新たな中山間対策の方向性
- 3 集落活動センターと小さな集落活性化の取り組み

令和4年10月12日 高知県



1 令和3年高知県集落調査

集落調査とは

10年ぶりに実施！

集落実態調査

1 調査の目的

- 地域の実情や住民意識、思い等について前回調査(H23)からの経年変化の把握
- これまで10年間の中山間対策の取り組みの検証
- 新たな課題やニーズの抽出と、それに対応するための新たな中山間対策の施策づくり

2 調査の内容

- 中山間地域を中心とした、概ね50世帯未満の集落を対象に実施
(主な内容：集落活動、生活環境、安全・安心、中山間の産業づくり)

【集落代表者聞き取り調査】

(訪問による聞き取り調査)

- 調査箇所：1,451集落
- 調査対象：地区長等の代表者

【住民アンケート調査】

(個人の記述による調査)

- 調査箇所：109集落
- 調査対象：集落在住の18歳以上の方

集落データ調査

令和2年国勢調査の結果を踏まえ、市町村や集落ごとの人口、世帯、高齢化率等に関するデータを整理。

- 調査対象数：2,522集落
- データ内容
 - 県及び市町村の人口、高齢化率の推移
 - 集落数の推移
 - 世帯規模、人口増減、世帯数増減、高齢化率から見た集落の状況

※昭和35年から5年ごとに定期的に実施



調査結果の総括

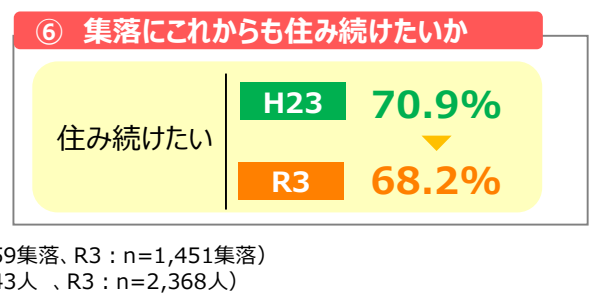
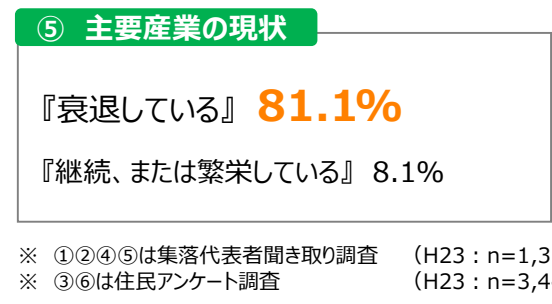
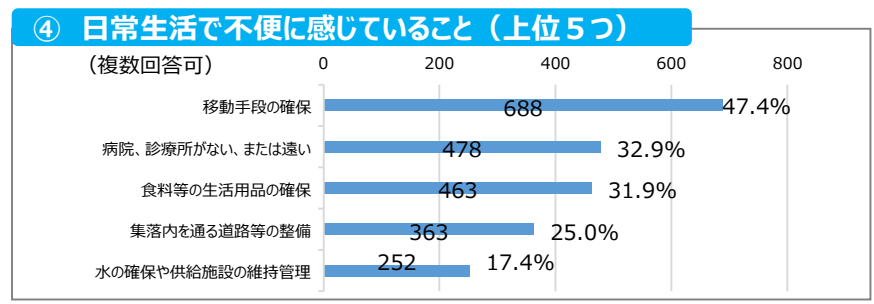
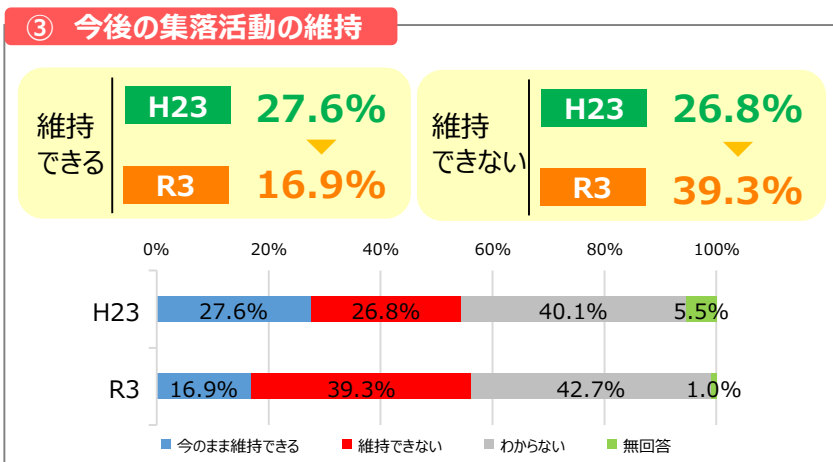
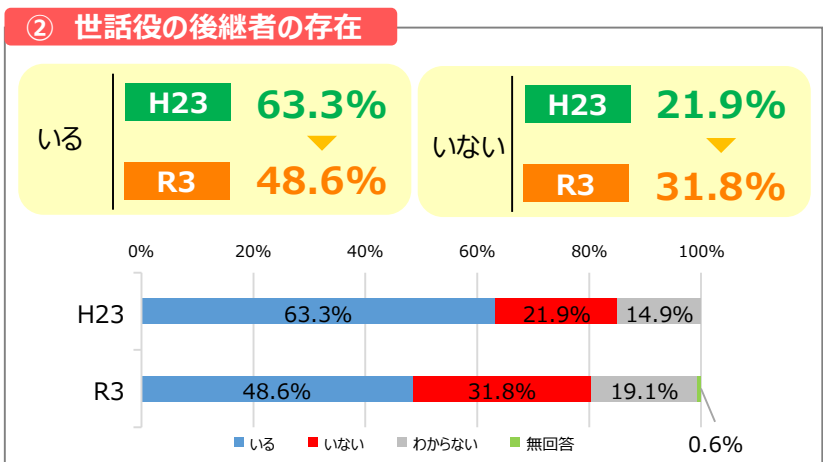
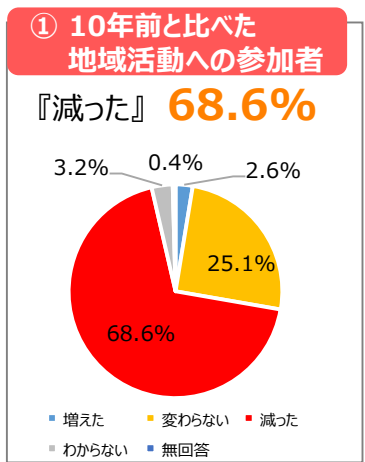
実態調査

- 10年前に比べ地域活動への参加者が減少、将来の集落維持に不安を抱える集落が増加。
- 生活環境では、飲料水や生活物資、移動手段の確保などの日常生活の不便さを確認。
- 産業面では、農業や林業などの基幹産業が衰退。
- 多くの集落に共通して、「担い手不足」が大きなボトルネックとなっている。
- 多くの住民の方は集落に愛着を持ち、「住み慣れた地域で暮らしていきたい」と希望されている。

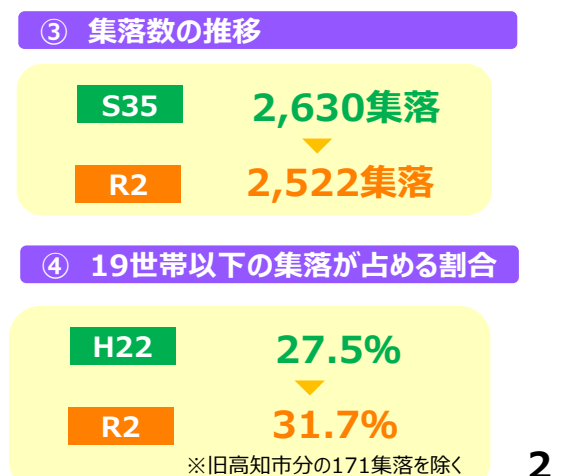
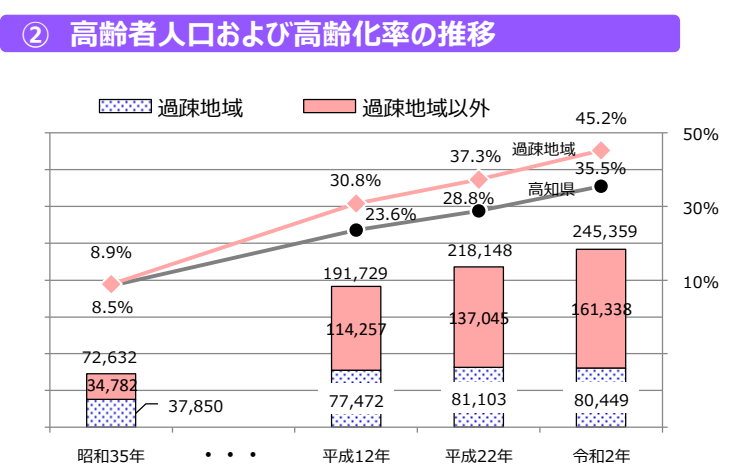
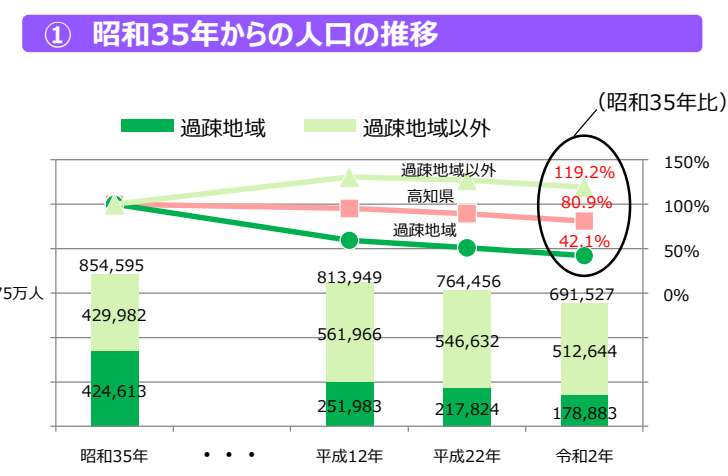
データ調査

- 過疎地域や中山間地域では、県全体を上回るスピードで人口減少や高齢化が進行している。
- 県全体で集落数の減少や小規模化も進んでいる。

■ 集落実態調査の結果



■ 集落データ調査の結果

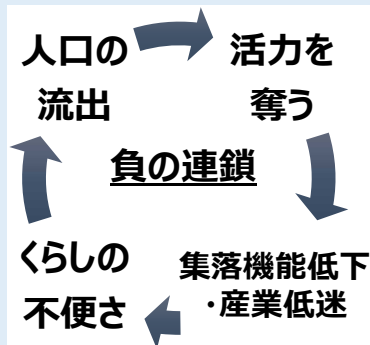


2 新たな中山間対策の方向性

集落調査の総括

- 集落データ調査の結果から、過疎地域や中山間地域では、**県全体を上回るスピードで人口減少や高齢化が進行**しており、集落も小規模化している。
- 集落实態調査の結果では、10年前に比べて地域活動への参加者が減少した集落や、**将来の集落維持に不安を抱える集落が増加**している。
- **日常生活の不便さ**、農林業など**基幹産業の衰退**、**地域の担い手不足**など厳しい現状が改めて明らかになった。
- 10年前と変わらず、多くの住民の方は集落に愛着を持ち、「**住み慣れた地域で暮らしたい**」と希望されている。

小規模集落に共通して見られる課題



人口の流出によって、地域の活力が奪われ、集落機能の低下や産業の低迷、暮らしの不便さ、さらなる人口流出へとつながる負の連鎖に!!

こうした連鎖を食い止めるため・・・

一人ひとりが暮らし続けられる**生活環境づくり**を進めるとともに、地域に**活力**を生み出す取り組みや、地元で働き続けることができる**産業づくり**を支援！

3つの柱と8つの施策[山中八策]で中山間対策を抜本強化!!

柱1 「くらし」を支える

～暮らし続けられる環境づくり～

- I 生活環境づくり
- II 安全・安心の確保



柱2 「活力」を生む

～地域を支える活力の創出～

- III 集落活動センターの推進
- IV 小さな集落の活性化
- V 中山間の人づくり
- VI デジタル技術の活用



柱3 「しごと」を生み出す

～所得向上と雇用創出～

- VII 基幹産業の振興
- VIII 新たな生業、仕事づくり



目指すべき方向性

地域住民が支え合い、暮らし続けることができる**持続可能（サステナブル）な中山間地域**を目指す

3 集落活動センターと小さな集落活性化の取り組み

前回（H23）調査の結果から

- ◆ 中山間地域の集落の課題が数字によって明確化
- ◆ 人口減少や厳しい生活環境にも関わらず、**集落どうして助け合**
いながら住み続けたいという皆さまの思いを確認

これまでの取組及び今回調査の結果から見てきた課題

- ◆ 集落活動センターでカバーされていない地域が多く残されている
- ◆ センターの無い地域で新規の立ち上げが困難

集落活動センターを推進

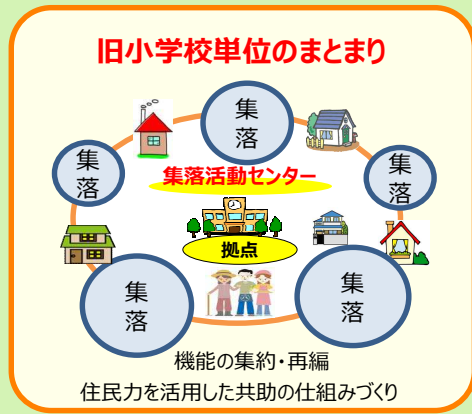
（複数集落で連携して地域活性化を目指す取り組み）

センターの構成集落に入っていない

小さな集落に活力を生み出す取り組みを実施

H24~
集落活動センター

集落間連携による小さな拠点づくり



箇所数：32市町村65箇所
(R4.5.8時点)



「集落活動センターの推進」に
加えて
「小さな集落活性化」の取り組みを実施

R4~
小さな集落活性化

単独の集落を活性化する取り組み



8市町村
71集落で開始

集落活動センターに対する評価（集落実態調査結果から）

- 58.0%の集落が集落活動センターの取り組みにより**地域が良くなった**と回答
- 75.2%の集落が取り組みに**満足している**と回答

小さな集落活性化事業で目指すもの

- 集落活動センターが全域をカバーしていない28市町村で仕
組みづくりに着手（R4~R6）
- 市町村の地域づくりビジョンづくりと併せて横展開 など

- 住民の力や地域の資源などの潜在力を引き出し、地域に新たな動きや活力を創出
- 集落活動センターのさらなる推進と単独の集落を活性化する取り組みによって、県全体で活性化を目指す